

※※掲載しているイベント・休館日などの情報は、新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じて中止または変更になる場合があります。最新の情報は図書館ホームページをご確認ください※※

# 図書館つうしん

〒中央図書館 Tel 24-1507

## 【9月の休館日】

5日(月)・12日(月)・13日(火)～20日(火)・23日(金)・26日(月)

イベント情報、資料検索・予約は図書館HPで▶



## 特別図書整理期間による

# 休館のお知らせ

## 休館期間

# 9月13日(火)～20日(火)

## 休館期間中の返却・貸出期間

本・雑誌・DVD・CDを休館中に返却される場合は、中央図書館玄関脇の返却ポストまたは八郷総合支所玄関前の返却ポストをご利用ください。

ただし、CD-ROM付の図書は破損防止のため、ポストに入れないで開館日に直接カウンターへお返しください。

東・城南地区公民館では、本・雑誌のみ返却ができます。なお、9月1日(木)～11日(水)までの間は、貸出期間を3週間に延長します。

## 休館場所

中央図書館  
こども図書館本の森  
郷の本棚やさど図書館  
東地区公民館図書室  
城南地区公民館図書室



### ◆こども図書館

(午前10時30分～)

3日(土) おはなし玉手箱

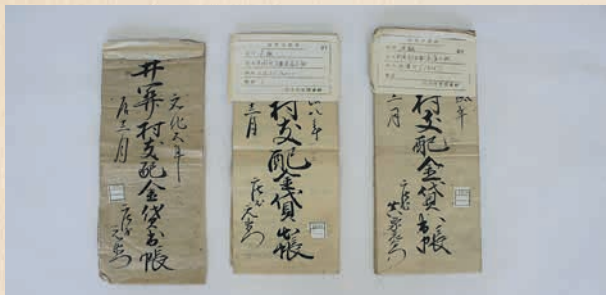
8日(木) ひよこのおはなしかい

24日(土) むかしむかしのおはなし会

### ◆郷の本棚やさど図書館

(午後2時30分～)

10日(土) おはなしフレンズ



▲井関村支配金貸出帳

左から文化5年、文政8年、天保7年

# 時の記憶

シリーズ 202

## 「関川文書 井関村支配金貸出帳」

関文化振興課(支所)

Tel 43-1111 (内線1455)

近世中期、18世紀中頃から、北関東の農村では人口流出などで田畑が荒れ、また天候不順による「天明の大飢饉」の発生などで人々の生活は追い込まれました。水戸藩は農村救済策として、御救金や年貢の見直しなどを行い、その救済策の一つに「支配金」の貸出があります。支配金は郡奉行所の資金などを元手とし、低金利で貸し出し、滞納中に追加利用が可能など、各所に救済の色がみえます。関川文書には、井関村の『支配金貸出帳』が文化5年(1808)から嘉永元年(1848)まで41冊残ります。

支配金貸出帳から利用人数を調べると、文化5年(1808)は個人利用者が4名、20年後の文政8年(1825)は63名、「天保の大飢饉」が発生した天保7年(1836)は70名です。水戸藩の出来事をまとめた『水戸紀年』には、文化6年に武士も庶民も生活が苦しく、藩上層部から儉約令が出されたとの記事があります。文化期から文政期にかけての支配金利用の急増は水戸紀年の記事を裏付けていて、井関村も多くの人が生活に困窮し水戸藩の救済事業に頼り暮らししていた状況を示しています。

### ふるさと歴史館第29回企画展

「関川文書―石岡の中の水戸藩―」

期間/10月2日(日)まで ※入館無料

場所/ふるさと歴史館(総社1-2-10)

# 文芸いしおか

## いしおか俳句同好会

白木槿紅をさしたるおちよぼ口  
白シャツの列に紛れて紅一点  
口紅に氷金時吸い込まれ  
涼風や古刹の庭の青紅葉

## やさど俳句会

庭手入れ終日励み日焼せり  
箸置は手びねり陶の夏料理  
おほらかに今日を生きやう茄子の花  
街道の和む一所や花はちす

## いしおか川柳会

ウインクをしたらおばさんVサイン  
願わくば自分の葬儀見てみたい  
語る友あつて至福の長電話

## 石岡俚謡会

夏の星空 見上げてごらん 賢治名作 「星めぐり」  
米寿迎えて 熱燗妻と 昔話に 上機嫌  
蛙 遠雷 祭りの稽古 夏の扉を 開けていく  
遠い戦地に 思いを馳せる 小麦畑に 初夏の風  
クイズ答えて 知恵つくはずが 物を忘れる 歳憎い  
夏の暑さに 照り突く道路 ダンプ通れば 砂ぼこり  
夏の暑さに 動きが鈍る アリの動きは 目を見張る  
物価値上げも どこ吹く風と 母が切り盛る 台所

## 投稿作品

つかの間のみじかき夏の北の海その楽しさを今に忘れず  
八月の空の青さに眼つむれば泣けとばかりに昭和が来たる  
幼な子が星ふわふわと初ホタル

一色 しのぶ(総社)  
前川 豊美(石岡)  
森 まさえ(東光台)  
若色 茂(山崎)

松田 知子(柿岡)  
越智 旅舟(太田)  
石田 清美(瓦谷)  
國谷 南風(瓦谷)

醍醐 正夫(東大橋)  
北白川 令(石岡)  
高橋 房子(小幡)

秋野 もみじ(南台)  
前島 くに子(貝地)  
小川野 蛙(府中)  
香俱耶姫(南台)

坂下 蜻蛉(国府)  
醍醐 正夫(東大橋)  
田村 こまくさ(鹿の子)  
篠原 美千代(国府)

伊能 政子(大砂)  
植木 和昭(小倉)  
羽生 好之(三村)

## 文化協会だより

### 第39回

### 「石岡大正琴愛好会」

石岡大正琴愛好会は、今年で結成19年目に入ります。もともとはいくつかの会と一緒に愛好会を結成しましたが、現在は「霞琴の会」1団体で活動しています。

活動は、石岡市文化協会主催の文化祭への参加や活動拠点の公民館まつり、茨城県大会、福祉施設での演奏・発表を行っています。

10月23日には、3年ぶりに文化祭「大正琴発表会」の開催を国府地区公民館で予定しており、私たちも楽しみにしています。

大正琴は楽譜が数字譜で簡単に弾くことができ、アンサンブルで演奏を楽しめる楽器です。

11月と12月には体験教室の開催を予定しておりますので、文化祭とあわせてぜひお越しください。

〒石岡大正琴愛好会 TEL 24-0588 (沖田)



▲霞琴の会 (令和4年6月10日ひたちなか文化会館)



▲ボランティア演奏  
ふれあい交流会 (国府地区公民館)